

# 地域みんなで子育てしませんか

ファミリーサポートセンター日野が

子育てを「応援してほしい人」と

「応援したい人」をつなぎます



ファミリーサポートセンター日野がスタートして半年になり、町内での認知度も高まり、預かりや送迎も始まっています。

ファミリーサポートとは、子育てを「応援してほしい人」と「応援したい人」が会員登録し、会員同士で助け合う仕組みです。ファミリーサポートセンターがアドバイザーとなり双方の地域や援助時間、サポート内容を考慮して調整を行います。

入会金や登録料は不要で、実際のサポートは有償になります。

実際に保育所が

開くまでの預かりと送りを利用されている、依頼会員の並河智香さんと協力会員の北浦操さん、山平智子さんにお話を伺いました。インタビューの時には、子育ての応援を通してあったかな関係を築いておられる様子が伝わってきました。

依頼会員 /



並河 智加さん(出雲の里)



協力会員 /



北浦 操さん(五月台)

## ●登録のきっかけは？

協力会員になった大きなきっかけは特になく、もともと町内の子育てボランティア等に参加していた、そこから話を聞き、登録することになりました。

## ●依頼会員への登録を悩んでおられる方へ

よく周囲から「今すぐは利用する予定がないから登録するのは気がひける」「興味はあるけれど預かりとなると不安がある」と言われますが、協力会員・依頼会員に関わらず、まずは話を聞いて登録することをすすめています。実際の預かりがで

きるようになるまでに程度の説明やお互いの顔合わせ、事前の打ち合わせ等をしなければならぬので助けてもらいたいと思っただけから登録したのでは間に合わない場合もあります。『何かあったときに助けてもらえるとこがある』という安心感のためにも、登録されてみてはいかがでしょうか。

協力会員になる場合も、自分でできないと思う範囲は無理だと伝えて、預かりや送迎に一定の条件をつけることができます。全てをやらなければならぬと思わなくても大丈夫ですよ。

## ●登録・利用の きっかけは？

保育所の預かりが7時

30分からのので、その時間に預けてから職場に行くとなると、毎日『間に合うかな』とどきどきしながら出勤しなければなりませんでした。誰かに助けてもらえないかなと思っっているときに日野町でもファミリースポーツセンターができると聞いて『絶対に利用しよう』と思いました。

勤務先がある東近江市では以前からファミリースポーツセンターがあり、同僚は利用していました。私もどうしても必要なときは利用しましたが、遠くから来てもらうことに不安もありましたし、毎日となるとなかなか利用に踏み切れませんでした。そんなときに日野町でも始まったので、安心して利用する

ことができている。

## ●利用してみても いかがですか？

ファミリースポーツセ

ンターを利用することで、子どもにも良い影響が出ていると感じています。自分で保育所までの送迎をしようと思うと、どうしても朝の時間に追い立てられて子どもにも「早くして！」と急かしてばかりでした。しかし、助けてもらうことで私にも子どもにも時間に余裕ができ、家族や保育所以外の大人と接することで、子どもが豊かに過ごせていると感じています。この時間は子どもの財産になると思います。また、協力会員のお二人は子育て経験者でするので、私自身が気づかざれ、学ぶところが多くあります。自分ではできない子育てや注意をしてもらい、親も知恵や知識

をもらい、成長に繋がっていると感じています。また、お二人の話を聞くことで親としての悩みを早くに解決できます。

## ●利用を 悩んでおられる方へ

働き辛さを感じている

お母さん達は多いはずですが、日野町では周囲の目を気にしてファミリースポーツセンターを利用することに抵抗を感じておられる方もいると思います。でも、両親と一緒に住んでいるからと言っても、全て助けてもらえるときばかりではないと思います。そんなときの保険としてファミリースポーツセンターに登録しておくとお互いの助けになるのではないのでしょうか。



## ●登録のきっかけは？

回覧板でファミリースポ

ーツセンターの会員登録をされていることを知り、話を聞いてみようと思いましたが、私は自分の子どもが小さい頃に、ご近所などの周りの方に助けていただいていたので、今後は自分が誰かの助けになることで恩返しできればと思います。長時間勤めるのは難しいのですが、送迎等少しの助けなら力になれると思いました。

## ●協力会員への登録を 悩んでおられる方へ

私は預かりができる範

囲にいくつかの条件をつけさせていただいています。その条件と合う方の助けをする形です。また、自分の家族にも手伝ってもらいながら、楽しく預かりや送迎をしています。



## 協力会員



やまひら ともこ  
山平 智子さん(三十坪)

## 実際はどんな活動があるの？

6月にスタートしてから11月までの間に約150件の送迎や預かりが行われています。

送迎では、保育所への送迎(送りのみもあり)が中心で、学習塾等の習い事への送迎などがあります。

預かりでは、保護者自身の通院や体調不良、余暇の充実やリフレッシュのため、また、兄弟が習い事へ通う間弟妹を預けたいなど、利用される理由はさまざまです。

また、まだ実働はありません。

せんが、第一子妊娠中の家事応援等でも利用できます。

他にも長期休暇期間中

に開いている『子ども食堂』では小学生以上の子どもを対象に、みんなで一緒に宿題や作業等をし、自分達でつくったご飯を食べます。こちらは非会員も参加できます。

今年の冬休み期間は12月26日(月)、27日(火)、1月5日(木)、6日(金)の4日間、開催します。

## ファミリーサポートセンター日野 会員募集中!

預かりや送迎はファミリーサポートセンターの会員でなければ依頼も協力もできません。ファミリーサポートでは随時会員募集していますので、興味のある方、悩んでおられる方は、一度お問い合わせください。



### 依頼会員

日野町在住または在勤で、0歳から中学生までのお子さんをお持ちの方。

### 協力会員

日野町在住の20歳以上の方で、自宅での預かりまたは自家用車を使つての送迎ができる方。

※協力会員養成講座の受講が必須です。

## ファミリーサポートセンターアドバイザー事務局より



私たちが皆さんをおつなぎします

子育ては子どもを育てるだけでなく、親(大人)も育つ、学ぶものだと思います。ファミリーサポートセンターを通じて色々な方と関わることで、子どもだけでなく親も、もちろん私たちも成長していると強く感じます。

利用いただいているお子さんが出会うたび、社会的になっていき、日に日に協力会員さんがお子さんとの関わり方が上手になっていかれるのが報



アドバイザー  
すぎはらの 杉原 佳乃さん  
(河原)

告書からも確認できます。コミュニケーション能力は、人と関わることでしか培えないので、ファミリーサポートセンターが今後一層、子育ての応援だけでなく「人間育ちの場」「出会いの場」になればいいと思います。

協力会員さんは子ども好きなのはもちろん、社会へ何か貢献したいという考えをお持ちで、私たちも色々教えていただいています。

な、と感じます。仕事、子育て、家事…たくさんの方に力を借ります。子育ては一人でするものではないので、誰かの力を借りることは必要だと思います。子育てを親だけのものにならないことが、結果的に親も子どもも周りも満たされます。近くに頼れる「誰か」が、家族以外にもいるってとっても心強いですよ!

また、依頼会員さんは「頑張り屋さん」が多いです。



アドバイザー  
もといせつこ 本居 節子さん  
(湖南サンライズ)